

農業ICTクラウドサービス・アグリネット※

農業従事者の高齢化や若手不足など、農業を続ける上での多くの課題を抱えていた佐賀県武雄市では、収益性の高いやりがいのある農業の確立に向けて、日本電気(株)(NEC)がネボン(株)(ネボン)と協業で提供する農業ICTクラウドサービス「アグリネット」を活用。地域全体での収量や品質のアップ、生産事業の拡大、就農支援、後継者への技術継承を支援している。

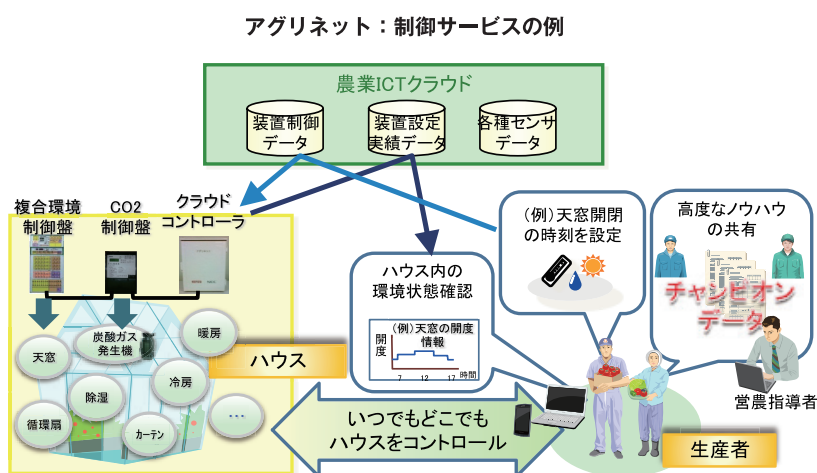
背景

武雄市は①農業労働力不足、②就農時間の軽減、③農業所得の向上、④農業従事者の健康管理、④環境負荷低減・省エネ対策、といった課題を抱えていた。これらの課題を解決するために、(1) 営農管理による産性等の向上、(2) 予防医療での安心安全ネットワークの確立、(3) インターネットを活用した農産品のブランド化と販売、というアプローチを行い、それらを実現する手段として、ITの活用を推進した。

※「アグリネット」はネボン株式会社の商標登録です

概要

「営農管理による産性等の向上」についてはNECとネボンが提供する「アグリネット」を活用。施設内状況の可視化や遠隔制御を行うことができるクラウドサービスを構築。
※主な機能：ハウスの警報サービス、ハウスモニタリングサービス、ハウス環境制御サービス、グループウェア機能、Webカメラによるハウス内の画像撮影。



出典：総務省ホームページ「ICT街づくり推進会議地域懇談会@九州」
http://www.soumu.go.jp/main_content/000300641.pdf

アピール
ポイント

- ITの活用により、地域のトップランナーである生産農家の「匠の技」のノウハウをデータ化し、蓄積することが可能。その情報を地域の生産者グループに共有することで、地域全体での収量や品質のアップ、生産事業の拡大、就農支援、後継者への技術継承を支援。
- スマートフォンの活用等、作業の効率化やコストに考慮したシステム。
- 害虫情報や農薬情報などの情報の共有や、営農指導者からのタイムリーな指示、農場環境の常時監視による警報機能で、不測の事態にも迅速に対処することができ、製品化率の改善を支援。
- 営農管理において栽培上の事故回避等の成果を上げることが可能。実際にアンケート結果として、半数以上の農家が効率化されたとの回答を得ている。

